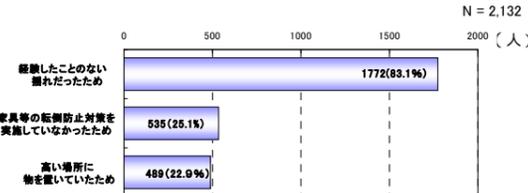


平成23年度 ヒヤリ・ハット調査「非常時(震災時)の危険」概要

地震発生時

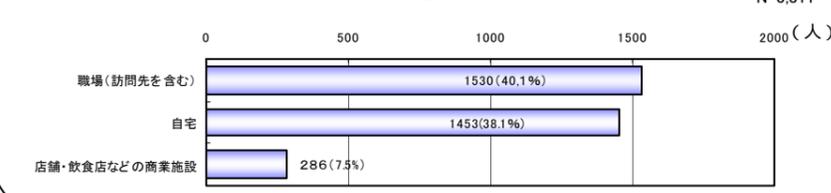
① ヒヤリ・ハットの理由 (P11)

「経験のしたことのない揺れだったため」が最も高く 83.1%



② 地震発生時にいた場所(P4)

全体では、「職場(訪問先含む)」が最も高く 40.1%



③ 地震発生時の行動(複数回答:P6)

地震発生時にいた階数別にみると、上層階にいた人ほど「身の安全を図った」割合が高い。

階数	人数	身の安全を図った	転倒しそうなものを押さえた
地階	75人	34.7%	14.7%
1階	967人	31.5%	25.0%
2階	751人	35.2%	37.4%
3階~5階	854人	42.9%	36.8%
6階~9階	405人	49.9%	41.5%
10階~19階	226人	50.4%	36.7%
20階~29階	58人	58.6%	32.8%
30階以上	29人	72.4%	27.6%

(1) 自宅では

① 地震発生時の自宅での行動(複数回答:P6)

1位	転倒しそうなものを押さえた	44.9%
2位	扉・ドア・窓を開けた	35.9%

② 転倒防止対策を実施していた家具類・家電製品類(複数回答:P13)

震災以前から「転倒防止対策」を実施していた人は、32.2%(1,287人)いた。

【対策していたもの】

1位	たんす	62.2%
2位	食器棚	58.4%
3位	本棚	54.1%

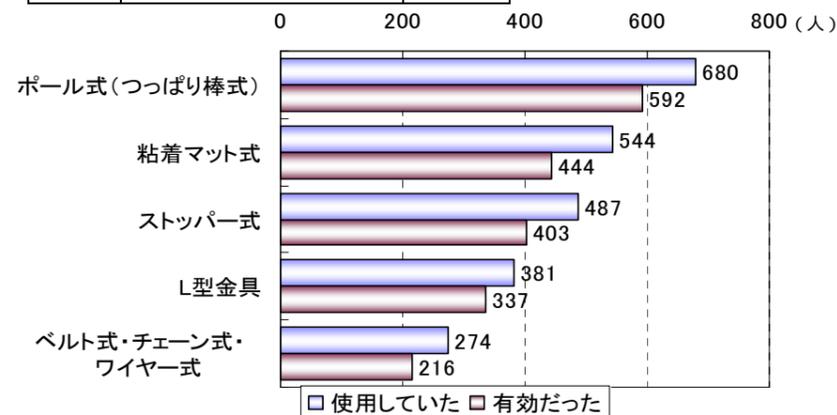


③ 使用していた転倒防止器具の種類・有効性(複数回答:P14)

【有効に機能した転倒防止器具】

1位	L型金具	88.5%
2位	ポール式(突っ張り棒)	87.1%
3位	ストッパー式	82.7%

N=1,287



④ 地震発生時のヒヤリ・ハットの例(P9)

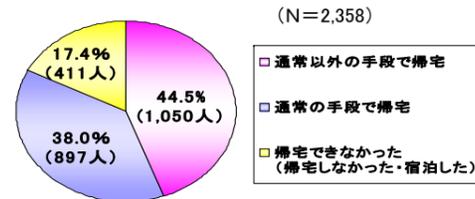
- 32インチのブラウン管テレビが棚から落下し、テレビが故障した。
- 観音開きの食器棚の扉が開き、食器が全部落下し、転倒した。
- 水槽の水がこぼれて、漏電し停電した。
- たんすが動いて部屋から出られなくなった。
- 書庫内の雑誌等が落下した。2階ではグランドピアノが床の上を滑っていた。

(2) 職場では

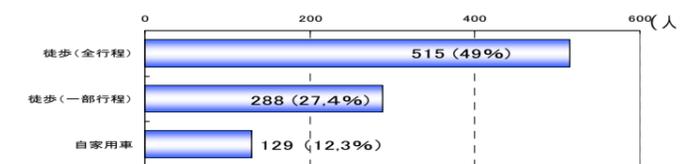
① 地震発生時の職場での行動(複数回答:P6)

1位	身の安全を図った	48.7%
2位	建物の外に避難した	23.7%

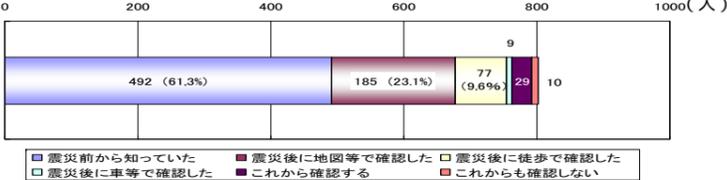
② 地震発生時の帰宅状況(P22)



③ 通常以外の手段で帰宅した人の帰宅手段(P23)

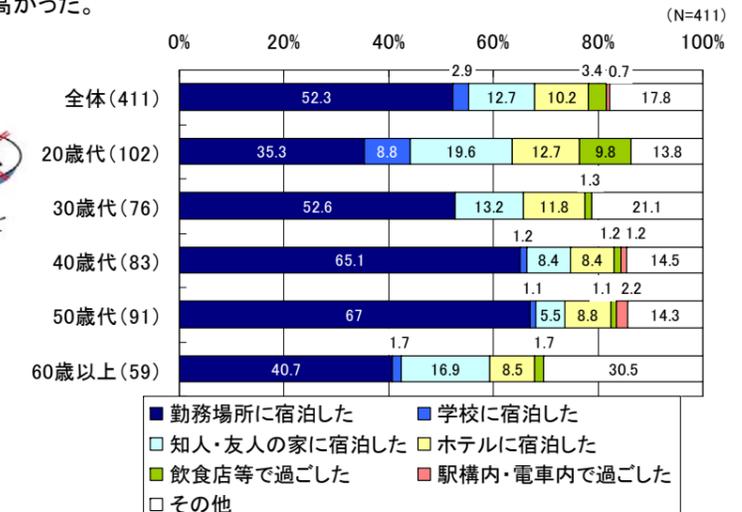


④ 徒歩で帰宅した場合の経路の認知状況(P25)



⑤ 地震発生当日に宿泊又は過ごした場所(年代別:P33)

◎40歳代、50歳代では、「勤務場所に宿泊した」人が6割を超えている。
◎20歳代では、「友人・知人宅に宿泊した」、「飲食店等で過ごした」人の割合が他の年代に比べて高かった。



⑥ 帰宅中のヒヤリ・ハットの例(P37)

- 3度目の揺れで、ブロック塀の上の鉢植えが落ちてきた。
- 電車の運行開始がアナウンスされた途端に、改札に人が押し寄せ、転倒しそうになった。
- ハイヒールで長時間歩いたため、足がもつれて転びそうだった。
- 群衆の中を歩いていて、段差や階段が見えず、つまずきそうになった。

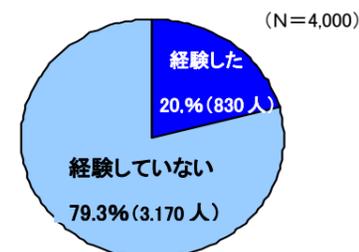
(3) 計画停電

① 計画停電の実施に関する認知度(P44)

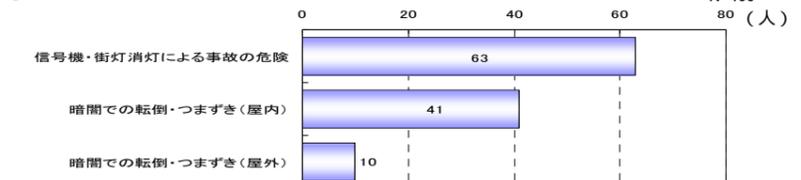
計画停電の対象区域や実施時間等の情報を知っていた割合は、88.3%

② 計画停電経験の有無(P46)

計画停電を「経験した」と回答した人は 20.8%



③ 計画停電時のヒヤリ・ハット(P48)



④ 計画停電中のヒヤリ・ハットの例(P48)

- 信号が消えており、飛び出してくる車が多くて怖かった。
- ろうそくを使用し、近くにあった紙に火が付きそうだった。
- 懐中電灯が売り切れで、暗いまま行動し、あちこち衝突した。
- 停電で断水となり、飲料水・風呂・トイレが使えなかった。

